

2019年2月20日付けでカルタヘナ法に基づき承認した遺伝子組換え農作物(第一種使用規程)

作物名	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					パブリック コメント回答 掲載日	承認日	(参考)他の安全性 の確認状況	
		隔離ほ場 での試験 等	栽培	食用	飼料 用	観 賞 用			食品安全 性(食品 衛生法)	飼料安全 性(飼料 安全法)
ダイズ	チョウ目害虫抵抗性ダイズ(改変 <i>cry1Ac</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON87701, OECD UI : MON-87701-2) [日本モンサント株式会社]						2019.2.20 (回答は、 こちらから)	2019年2月20日	2011	2011
ダイズ	チョウ目害虫抵抗性ダイズ (<i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.)(MON87751, OECD UI : MON-87751-7) [日本モンサント株式会社]						2019.2.20 (回答は、 こちらから)	2019年2月20日	2016	2016
トウモロコシ	コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(<i>ecry3.1Ab</i> , <i>mcry3A</i> , <i>pat</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) lltis)(MZIR098, OECD UI: SYN-00098-3) [シンジェンタジャパン株式会社]						2019.2.20 (回答は、 こちらから)	2019年2月20日	2017	2018
ワタ	カメムシ目、アザミウマ目及びコウチュウ目害虫抵抗性ワタ (改変 <i>cry51Aa2</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.)(MON88702, OECD UI : MON-88702-4) [日本モンサント株式会社]						2019.2.20 (回答は、 こちらから)	2019年2月20日	2019	2018

注1: 名称の()内の「OECD UI」とは、OECD Unique Identifierのことであり、遺伝子組換え植物の安全性審査の単位としてOECDに登録されている識別記号のことです。

注2: 名称の()内の「OECD UI」の前に記述している英数字は、開発者による識別番号です。

注3: 第一種使用等の内容の「食用」、「飼料用」とは、食用又は飼料用のための「輸入及び流通」について認められたものです。

注4: 「(参考)他の安全性確認状況」の欄は、食品衛生法に基づく食品としての安全性審査の手続きを経た年、ないし、飼料安全法(飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律)に基づく飼料としての安全性の確認がなされた年を示すものです。「-」は未確認を示すものです。ただし、非食用又は非飼料用については「不要」を意味します。なお、スタック系統については親系統で安全性を確認しております

参考1: 承認した遺伝子組換え農作物に係る第一種使用規程承認申請書、生物多様性影響評価書の概要、学識経験者の意見等については、バイオセーフティクリアリングハウス(J-BCH)のLMO関連情報(http://www.biodic.go.jp/bch/bch_3.html)から検索できます。

参考2: これまでに承認した遺伝子組換え農作物のリストについては、こちらからご覧下さい。
<http://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/carta/torikumi/index.html#1>